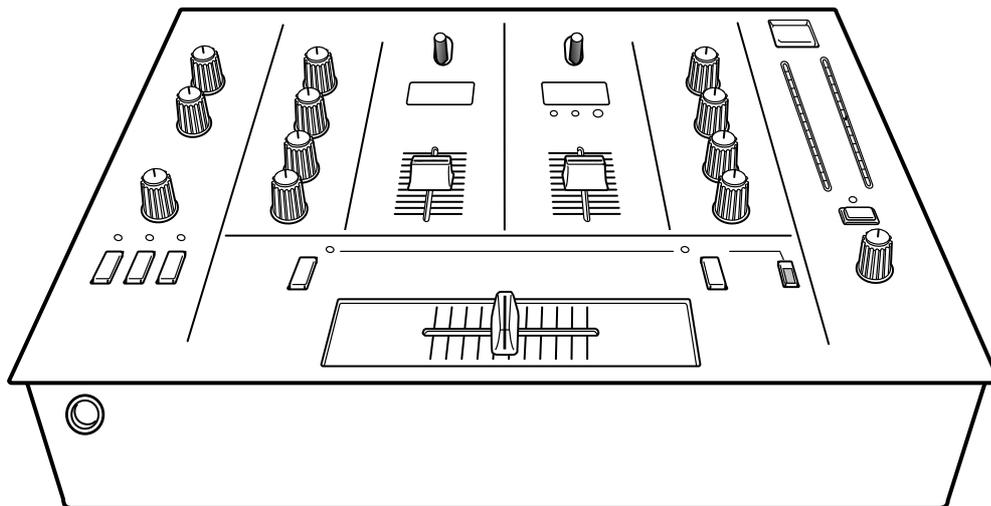


# 取扱説明書

DJミキサー

# DJM-300 DJM-300-S



このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくためにご使用前にこの取扱説明書と別冊の「安全上のご注意」を最後までお読みください。

特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになった後は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保管してください。

使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

## 目次

安全上のご注意 .....	2	BPM測定のしかた .....	9
特長 .....	3	フェーダースタート機能の使いかた .....	10
付属品の確認 .....	3	故障?ちょっと調べてください .....	11
製品のお手入れについて .....	3	仕様 .....	12
接続のしかた .....	4	保証とアフターサービスについて .....	13
各部の名称と働き .....	6		

## 安全に正しくお使いいただくために

### 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

## 安全上のご注意

### 警告

#### 〔異常時の処置〕

● 万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け



● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



# 特 長

## BPMカウンター

オートBPMカウンターを装備、曲のテンポが目で見えてわかります。また、リアルタイム／アベレージの切り換えもできます。

## 3バンドイコライザー&キル

HI、MID、LOWの各チャンネル対応イコライザーを搭載、また、減衰レベルは-26dBまで落とせるキル機能となります。

## ピークレベルメーター

各チャンネルに9ドットLEDインジケータ採用のピークレベルメーターを装備。マスターレベルとチャンネルレベルの切り換え表示ができます。

## フェーダースタート

クロスフェーダーもしくはチャンネルフェーダーをレベルアップするだけでCDプレーヤーがスタートします。クロスフェーダーかチャンネルフェーダーかの選択はクロスフェーダースイッチで選べます（当社CDプレーヤーCDJ-50シリーズまたはCDJ-30接続時のみの機能です）。

## 振り分けモニター

各チャンネル入力とマスター出力をヘッドホンの左右に振り分けでモニターできます。

これにより曲と曲のつなぎ編集がタイミングよくできます。

## 充実した入出力端子

CD、LINE、PHONO各2系統（MM専用）、マイク1系統の計7入力と、2系統の出力を装備しています。

# 付属品の確認

- 取扱説明書
- 安全上のご注意
- ご相談窓口・修理窓口のご案内
- 保証書

# 製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着する

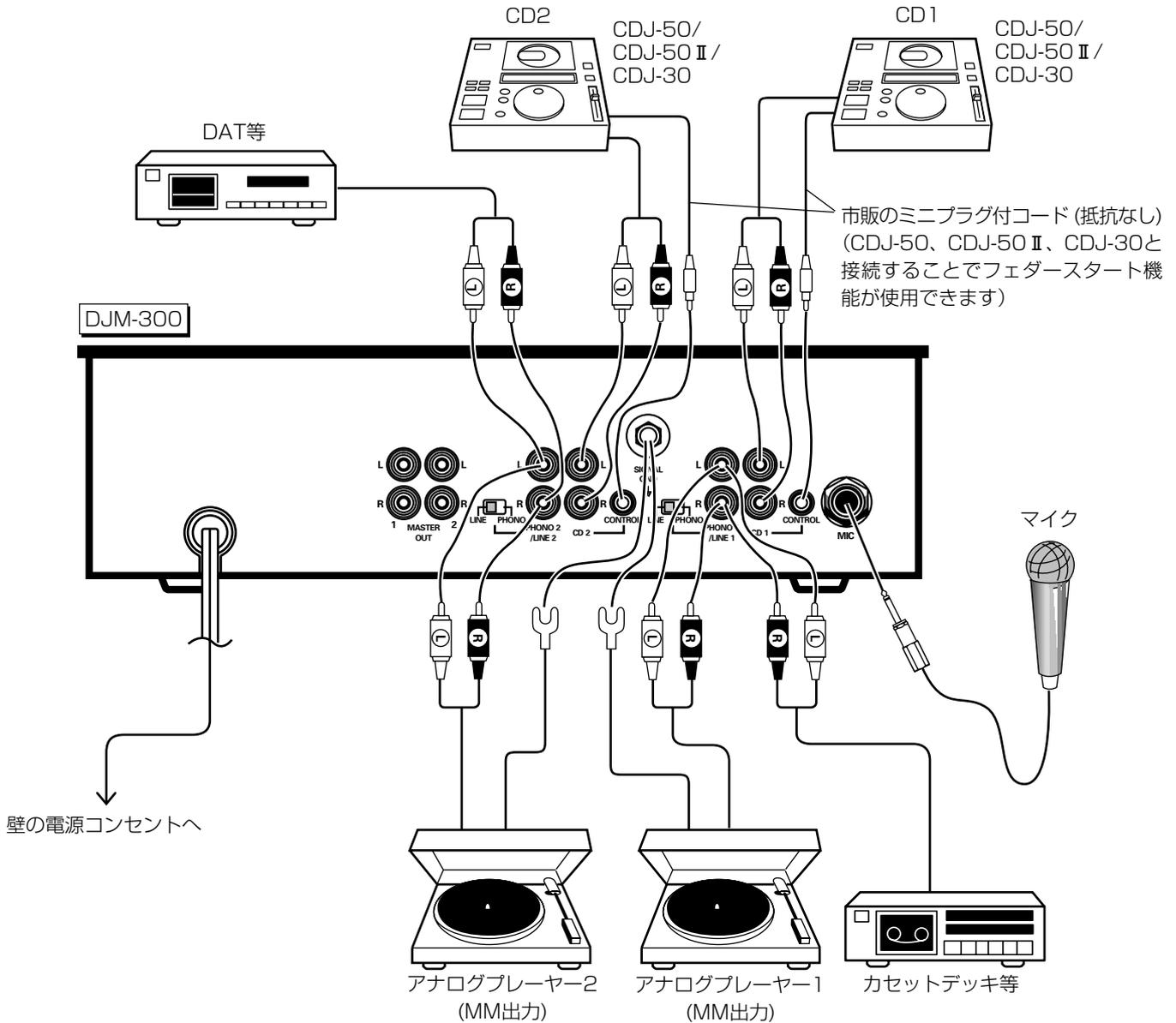
と印刷、塗装などがはげることがあるのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

# 接続のしかた

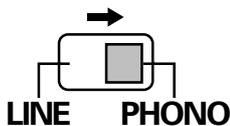
機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

## 1. 入力機器の接続



### ご注意：

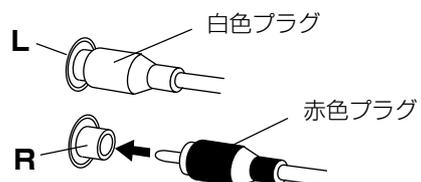
PHONO1/LINE1およびPHONO2/LINE2端子にアナログプレーヤーを接続するときは、リアパネル入力ソース切換スイッチをPHONO側にしてください。



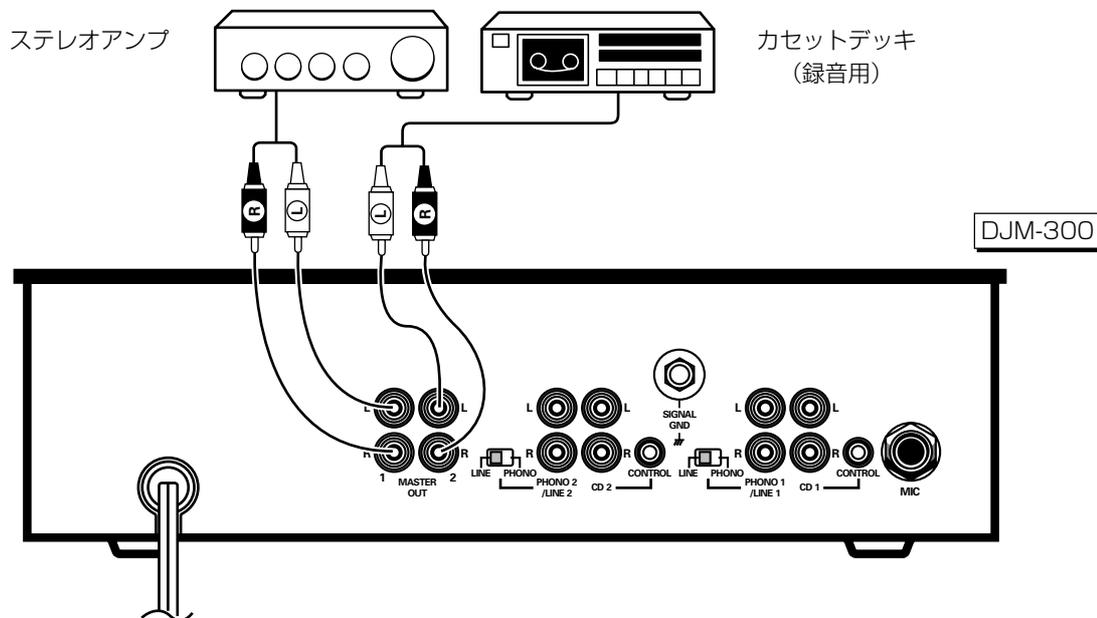
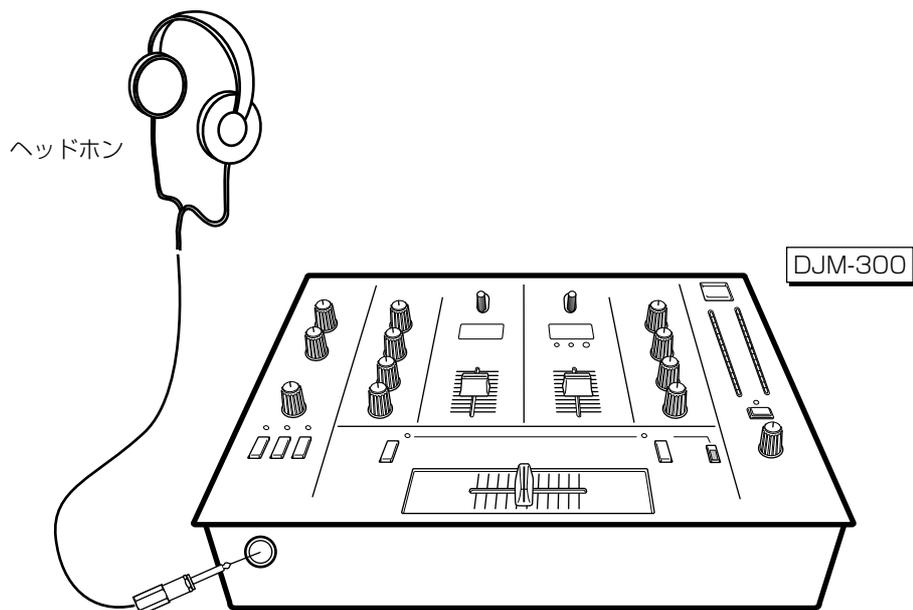
アナログプレーヤーを使用しないときは、スイッチをLINE側にてご使用ください。(7ページ参照)

### オーディオ用コードのつなぎかた

赤、白ピンプラグ付きコードを使用します。  
白いプラグは(L)側、赤いプラグは(R)側につなぎます。必ず、奥まで差し込んでください。



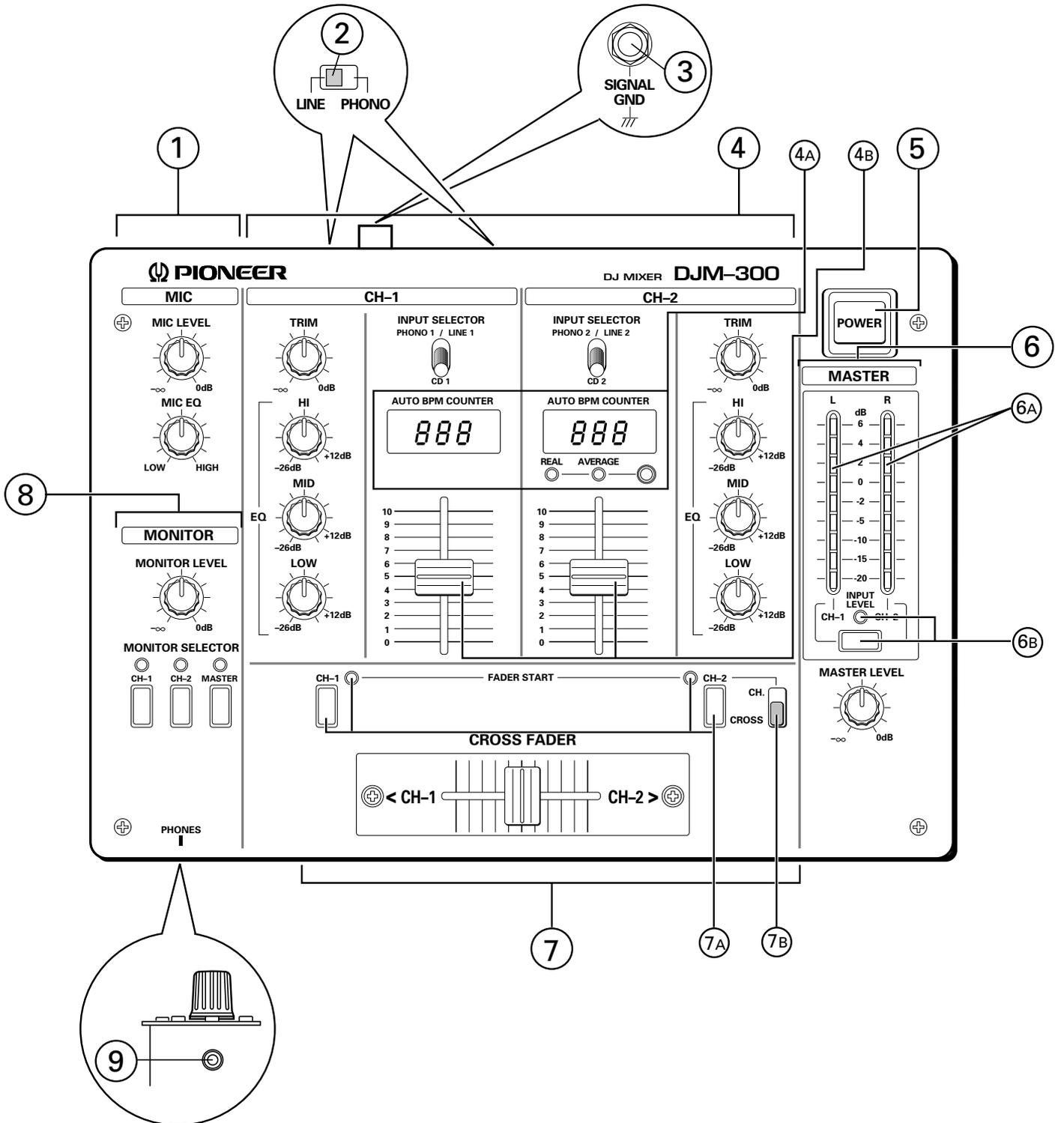
2. 出力の接続



# 各部の名称と働き

## 操作面

②、③は後面側、⑨は前面側より見た図です。



## ① マイク入力コントロール部

**MIC LEVEL (マイクレベル) :**

マイクの音量調整に使用します。

**MIC EQ (マイク イコライザー) :**

マイク音の音質調整に使用します。

センタークリックの位置でフラットです。

右に回すと高音が強調されます。

左に回すと低音が強調されます。

## ② リアパネル入力ソース切換スイッチ

PHONO 1/LINE 1およびPHONO 2/LINE 2入力端子に接続した機器を選択します。

PHONO : アナログプレーヤー (MM出力)

LINE : 出力レベルがラインレベルのオーディオ機器

**ご注意 :**

電源を入れたまま切り換えないでください。

切換時にマスター出力にミュートがかかります。

## ③ グランド端子 (SIGNAL GND)

アナログプレーヤーのグランド用コードを接続します。

この端子はアナログプレーヤーの専用端子であり、安全アースではありません。

## ④ CH1、CH2入力コントロール部

**入力切換スイッチ (INPUT SELECTOR) :**

各CHに接続した2つの機器のうち、どちらの音を使うかを選択します。

CH1 : PHONO 1/LINE 1とCD 1の切換

CH2 : PHONO 2/LINE 2とCD 2の切換

**TRIM (トリム) :**

入力信号のレベルを調整するのに使用します。

右に回すとレベルが上がります。( +6 dBまで)

左に回すとレベルが下がります。( -∞まで)

**EQ (イコライザー) :****HI (ハイ) :**

高音の調整に使用します。

センタークリックの位置でフラットです。

右に回すと増加します。

左に回すと減衰します。

**MID (ミッド) :**

中音の調整に使用します。

センタークリックの位置でフラットです。

右に回すと増加します。

左に回すと減衰します。

**LOW (ロー) :**

低音の調整に使用します。

センタークリックの位置でフラットです。

右に回すと増加します。

左に回すと減衰します。

## ④A BPM表示部 (9ページ参照)

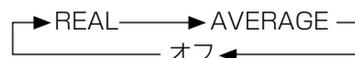
**カウンター :**

CH1、CH2に入力されたソースのBPMを数字で表示します。

計測中は点滅し、5秒以上測定できないとき、または、オフのときは“—”と表示します。電源を入れたときは、リアルモードになります。

**リアルモード/アベレージモード切換ボタンとインジケーター :**

ボタンを押すたびに表示モードとインジケーターの点灯が次のように切り換わります。

**(REALを選んだ時)**

計測したBPM値をリアルタイムで表示します。

計測誤差はAVERAGEより大きくなります。

**(AVERAGEを選んだ時)**

表示のタイミングは遅くなりますが、平均化処理により安定した表示をします。

計測中は前の値を表示しつづけます。

## ④B チャンネルフェーダーボリューム

CH1、CH2の音量を調整するのに使用します。

## ⑤ 電源スイッチ (POWER)

本機の電源をON/OFFします。電源を入れると接続機器保護のため約2秒間ミュートがかかります。

## ⑥ マスターコントロール部

## ⑥A レベルメーター

レベルメーターモード切換スイッチにより2つのレベルを表示します。レベルメーターモードインジケーター消灯時はマスターレベルを表示し、点灯時はCH1、CH2の入力レベルを表示します。ピークレベルを2秒間ホールドします。

表示範囲は -20dB ~ +6dB です。

## ⑥B レベルメーターモード切換えスイッチとインジケーター

レベルメーター表示のモードを切り換えるときに使用します。ボタンを押すたびにマスターレベルと入力レベル (CH1、CH2) の2つのモードを切り換えます。入力レベル表示時にインジケーター (INPUT LEVEL) が点灯します。電源を入れたときは、マスターレベルになります。

## 各部の名称と働き

### ⑦ クロスフェーダー部

#### クロスフェーダーボリューム (CROSS FADER)

クロスフェーダースイッチがCROSS側のときに働きます。CH1とCH2の信号をコントロールして出力します。ボリュームを左側に寄せるとCH1信号が上がり (0dBまで)、CH2信号は下がります (-∞まで)。逆に右側に寄せるとCH2信号が上がり (0dBまで)、CH1信号は下がります (-∞まで)。

### ⑦A フェーダースタートスイッチ (FADER START) とインジケータ (10ページ参照)

押しとインジケータが点灯してONになります。もう一度押しとインジケータが消灯してOFFになります。

別売のCDプレーヤーCDJ-50、CDJ-50 II、CDJ-30のいずれかを組み合わせてミニプラグ付コード (抵抗なし) で本機と接続している場合に、チャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーでCDプレーヤーを自動的に演奏スタートさせる機能のON/OFFスイッチです。

#### マスターレベル調整ボリューム (MASTER LEVEL)

マスター出力の音量レベルを調整するのに使います。CH1、CH2各々のチャンネルフェーダーレベルとマイク入力がミキシングされた信号が出力されます。

### ⑦B クロスフェーダースイッチ (CH./CROSS)

#### CH. :

チャンネルフェーダーボリュームで音をミックスする場合には選べます。(ダイレクトミックス)

フェーダースタートスイッチがONのときは、チャンネルフェーダーでフェーダースタートします。

#### CROSS :

クロスフェーダーを使って音をミックスする場合には選べます。(クロスフェーダーミックス)

フェーダースタートスイッチがONのときは、クロスフェーダーでフェーダースタートします。

### ⑧ ヘッドホンモニター部

#### モニターレベルつまみ (MONITOR LEVEL)

ヘッドホンのモニター音量を調整するのに使います。

#### モニターセレクトスイッチ (MONITOR SELECTOR) (CH-1/CH-2/MASTER) とインジケータ

押しとインジケータが点灯してONになります。もう一度押しとインジケータが消灯してOFFになります。

ヘッドホンモニターのソース (CH-1、CH-2、MASTER) を選択するときに使います。希望のソースのスイッチを押しと、押ししたチャンネルの音をヘッドホン端子に出力します。

CH-1、CH-2はチャンネルフェーダー前の音出力されます。MASTERはマスターボリューム後の音出力されます。

2つのソースを同時選択できます。CH-1、CH-2が同時に選択された状態でMASTERを押しとMASTERのみになります。

一方のチャンネルとMASTERが同時に選択された状態でもう一方のチャンネルを押しと後で押ししたチャンネルとMASTERになります。(3つのソースは同時に選択できません。)

(モニターセレクトスイッチとヘッドホン出力の関係)

モニターセレクトスイッチ			ヘッドホン出力	
CH-1	CH-2	MASTER	L	R
ON	OFF	OFF	CH1 (L)	CH1 (R)
OFF	ON	OFF	CH2 (L)	CH2 (R)
OFF	OFF	ON	MASTER (L)	MASTER (R)
ON	ON	OFF	CH1 (L)+CH2 (L)	CH1 (R)+CH2 (R)
ON	OFF	ON	CH1 (MONO)	MASTER (MONO)
OFF	ON	ON	CH2 (MONO)	MASTER (MONO)

### ⑨ ヘッドホン端子 (PHONES)

# BPM測定のかた

## オートBPMカウンター (AUTO BPM COUNTER)

曲のBPM (Beats Per Minute : その曲の1分間のビート数、曲の速さを表すファクター) を自動的に計測しデジタル数字で表示します。 (\*1)

単に低音のビートをカウントするだけでなく、DJが必要とする曲本来のBPMをコンピュータにより演算してデジタルで表示します。従来のように人間の耳だけに頼ることなく、視覚的にも判断できるようになりました。これによりスピードの違う曲と曲を、より素早く簡単に合わせることができます。計測モードは、リアルタイムにデータを表示する「リアルモード」と平均値計算を行ったデータを表示する「アベレージモード」があります。

(\*1 : ほとんどの曲のBPMを計測可能ですが、曲によっては計測できない場合があります。(例えば、アカペラ、アドリブ等))

(例)CH1とCH2に入力されている曲のBPMを表示する場合。

① **TRIM (トリム) ボリュームを回して入力レベルメーターが振り切らない範囲で点灯するように入力レベルを調整します。**

② **BPMの表示モードをリアルモード/アベレージモード切り換えボタンで選択します。**

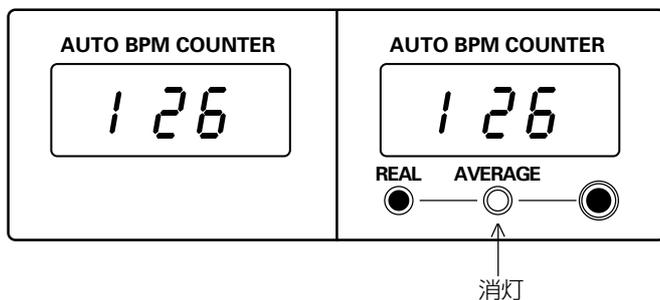
- ボタンを押すたびに表示モードとインジケーターの点灯が次のように切り換わります。



- リアル表示** : 計測したBPM値をリアルタイムで表示します。計測誤差はAVERAGEより大きくなります。
- アベレージ表示** : 表示のタイミングは遅くなりますが、平均化処理により安定した表示をします。計測中は前の値を表示しつづけます。
- オフ** : REAL、AVERAGE共に消灯。BPMカウンターは---を表示してBPMは表示されません。

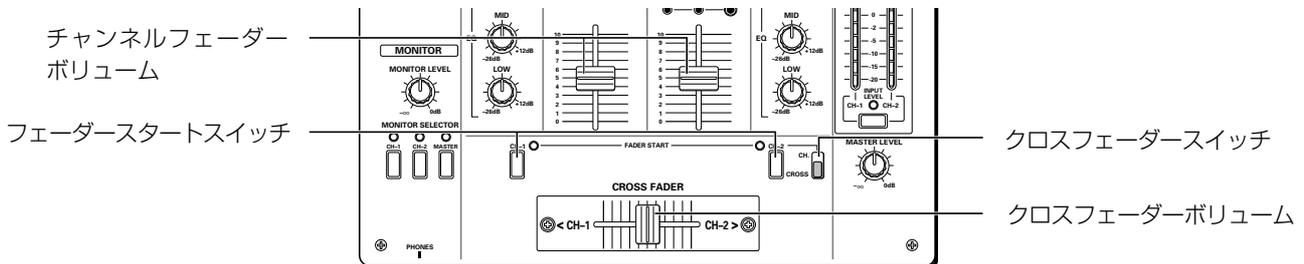
③ **CH1、CH2側の再生機器 (例、CDプレーヤー) で演奏テンポ (スピード) を調整します。**

CH1のBPM126、CH2のBPM126で一致した表示例



# フェーダースタート機能の使いかた

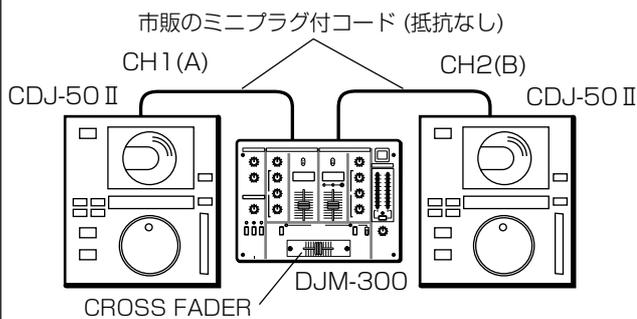
別売のCDプレーヤーCDJ-50やCDJ-50 IIもしくはCDJ-30などを本機に接続すると、チャンネルフェーダーやクロスフェーダーボリュームでプレーヤーの演奏をスタートすることができます。(市販のミニプラグ付コード(抵抗なし)の接続が必要です。)



## フェーダースタートプレイ

ミキサーのフェーダーボリュームを上げるとプレーヤーのポーズが解除して、自動的かつ瞬時に曲がスタートします。クロスフェーダーでもフェーダースタートプレイが可能です。また、フェーダーの位置を元に戻すと、プレーヤーをキューポイントまで戻す(バックキュー)ことができるのでサンプラー的プレイもできます。

(DJM-300のフェーダースタートプレイはCDJ-50、CDJ-50 II、CDJ-30のいずれの組み合わせのときでも働きます。但し、バックキュープレイはCDJ-50 II、CDJ-30の組み合わせのときに働きます。)

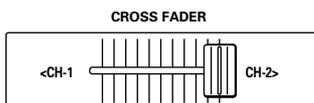


## クロスフェーダースタートプレイ&バックキュープレイ

CH1(A)がキューポイントでスタンバイ時にクロスフェーダーボリュームを右端から左へ動かすだけでCH1(A)がスタートします。また、CH2(B)がキューポイントでスタンバイ時にクロスフェーダーボリュームを左端から右へ動かすだけでCH2(B)がスタートします。そして右端まで動かすとCH1(A)がバックキューします(キューポイントに戻ります)。

## クロスフェーダーでスタートする

- 1 クロスフェーダースイッチをCROSS側にします。
- 2 制御したいプレーヤーを接続したチャンネルのフェーダースタートスイッチ(CH-1またはCH-2)をONにします。
- 3 クロスフェーダーをスタートしたいチャンネルの反対側いっぱいに絞ります。(例: CH-1のプレーヤーをフェーダースタートしたい場合)



- 4 プレーヤーでキューポイントを設定し、キューポイントでスタンバイさせます。
- 5 スタートしたいタイミングでクロスフェーダーボリュームをスタートしたいチャンネル側に動かすと演奏をはじめます。

## チャンネルフェーダーでスタートする

- 1 クロスフェーダースイッチをCH.側にします。
- 2 制御したいプレーヤーを接続したチャンネルのフェーダースタートスイッチ(CH-1またはCH-2)をONにします。
- 3 チャンネルフェーダーボリュームを下へいっぱいに絞ります。
- 4 プレーヤーでキューポイントを設定し、キューポイントでスタンバイさせます。
- 5 スタートしたいタイミングで、チャンネルフェーダーボリュームを上げれば、演奏をはじめます。

CDJ-50 II、CDJ-30の場合には、あらかじめキューポイントが設定されていれば、キューポイントの位置でプレーヤーをスタンバイしておく必要はありません。演奏開始後にフェーダーボリュームを元の位置に戻し切るとプレーヤーはキューポイントに戻り、スタンバイします。

### ご注意:

プレーヤーの電源を入れたままミニプラグ付コード(抵抗なし)を抜き差ししたり、本機の電源を切った場合プレーヤーが演奏をはじめることがあります。

# 故障？ちょっと調べてください

故障かな？…と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障とされています。また、本システム以外の原因も考えられます。同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。

下の項目をチェックしても直らない場合はお買上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

症 状	考えられる原因	処 置
電源が入らない。	• 電源コードが繋がっていない。	• 電源コンセントへつなぐ。
音が出ない、または小さい。	• 入力切換スイッチの位置が違っている。 • 接続コードが正しく接続されていない。または、はずれている。 • 端子やプラグが汚れている。	• 入力切換スイッチで、再生中の機器を選ぶ。 • 正しく接続する。  • 汚れをふき取って接続する。
音が歪む。	• 入力レベルが高すぎる。	• トリムつまみで調整する。
クロスフェーダーができない。	• クロスフェーダースイッチがCH.になっている。	• クロスフェーダースイッチをCROSSにする。
CDプレーヤーのフェーダースタートができない。	• フェーダースタートスイッチをOFFにしている。 • 後面のプレーヤーコントロール端子を接続していない。 • 本機とCDプレーヤー間をオーディオ接続していない。	• フェーダースタートスイッチをONにする。 • ミニプラグ付コード（抵抗なし）で本機とCDプレーヤーのコントロール端子を接続する。 • オーディオコードで本機とCDプレーヤーを接続する。

静電気、外部からの影響により、本機が正常に動作しない場合があります。このような時は再度電源スイッチを入れ直すことにより正常に動作します。

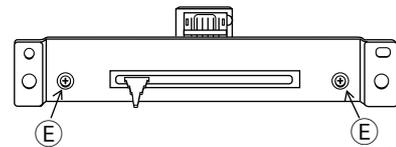
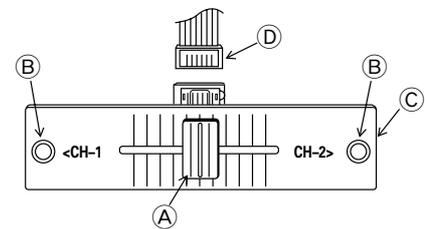
## クロスフェーダーボリュームの交換方法

本機は、クロスフェーダーボリュームが交換できる構造になっています。

下記の要領にて交換してください。

- ① 本機の電源プラグをコンセントから抜く。
- ② クロスフェーダーのつまみAを上へ引き上げてははずす。
- ③ ネジB 2本をはずし、スライダパネルCをははずす。
- ④ 本機からクロスフェーダーAss'yを取り出し、コネクターDをははずす。
- ⑤ ネジE 2本をはずし、クロスフェーダーボリュームを新しいものと交換する。
- ⑥ 分解と逆の手順でネジE、コネクターD、スライダパネルC、ネジB、クロスフェーダーのつまみAを取り付ける。

コネクターDをクロスフェーダーAss'yへ接続するときは、奥までしっかりと差し込んでください。差し込み方が不完全な場合は正常に動作しません。



### ⚠ 注意

- 交換の際に製品内部に触れたり、手を差し込んだりしないでください。お客様がケガをされたり、製品の故障の原因になる可能性があります。
- 取りはずした部品やネジ等を製品内部に落とさないようにご注意ください。

交換用のクロスフェーダーボリュームはお求めの販売店または当社サービスステーションにてクロスフェーダーAss'y (T-U76)をご注文ください。

# 仕様

## オーディオ部

### 入力端子（入力レベル／インピーダンス）

CD .....	-14 dBV (200 mV) / 22 k $\Omega$
LINE .....	-14 dBV (200 mV) / 47 k $\Omega$
PHONO .....	-54 dBV (2 mV) / 47 k $\Omega$
MIC .....	-60 dBV (1 mV) / 3 k $\Omega$

### 出力端子（出力レベル／インピーダンス）

MASTER OUT (RCA) .....	0 dBV (1 V) / 1 k $\Omega$
PHONES .....	-4 dBV (0.63 V) / 150 $\Omega$

### 周波数特性

CD/LINE .....	20 Hz～20 kHz
PHONO .....	20 Hz～20 kHz
MIC .....	20 Hz～20 kHz

### SN比

CD/LINE .....	80 dB
PHONO .....	75 dB
MIC .....	67 dB

### 全高調波歪率

CD/LINE, PHONO, MIC ..... 0.05 %以下 (3Vrms 出力時)

クロストーク ..... 70 dB

### チャンネルイコライザー

LOW .....	+12 dB, -26 dB (70 Hz)
MID .....	+12 dB, -26 dB (1 kHz)
HI .....	+12 dB, -26 dB (13 kHz)

マイクイコライザー .....  $\pm$ 12 dB (10 kHz)

## 電源部・その他

電源電圧 .....	AC 100V, 50/60Hz
消費電力 .....	14 W
動作温度 .....	+5 $^{\circ}$ C～+35 $^{\circ}$ C
動作湿度 .....	5 %～85 %
外形寸法 ...	308 (幅) $\times$ 220 (奥行) $\times$ 107.4 (高さ) mm
質量 .....	3.5 kg

## 付属品

- 取扱説明書 ..... 1
- 安全上のご注意 ..... 1
- 保証書 ..... 1
- ご相談窓口・修理窓口のご案内 ..... 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

# 保証とアフターサービスについて

## 保証書（別に添付してあります。）について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」等の記入を確かめ取扱店から受取っていただき、内容をお読みの上、大切に保管してください。

## 保証期間と保証内容について

### ●保証期間について

保証期間は、取扱説明書の注意にしたがった使用で、ご購入より1年間です。

### ●次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。

本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

### ●故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失（逸失利益）は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。

## 修理を依頼される時

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

### お願い

- 故障内容によっては、製品全体を取りはずすことが必要となります。その場合には、据付業者に依頼しなければサービスを行えない場合がありますので予めご了承ください。

### ●保証期間中は

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。保証書の規定にしたがって修理致します。

### 連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・型番・ご購入日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標（建物、公園など）

### ●保証期間が過ぎているときは

最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 愛情点検



### 長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・ 電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・ 電気が入ったり切れたりする。
- ・ 本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

### お客様相談センター

- カースト/カーナビゲーション製品に関するお問合せ窓口 ☎0070-800-818111
- 家庭用オーディオ/ビデオ製品に関するお問合せ窓口 ☎0070-800-818122
- カタログのご請求に関する窓口 ☎0070-800-818133

<ご注意> ● PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。

- 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。